

2022 年 2 月 22 日

中野区長 酒井直人 様

平和の森小学校敷地内における旧豊多摩監獄表門の位置表示に関する要望書

公益社団法人 日本建築家協会（JIA）関東甲信越支部 中野地域会
代表 白江 龍三

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、先般の専門紙の報道によりますと、2019 年 1 月に策定済の平和の森小学校新設の基本計画については、旧豊多摩監獄表門の曳家移築に伴い、来月（3 月）22 日を目途に再策定の作業中とのことです。私どもにも、曳家保存の決定により基本計画の再策定は当然であると了解されます。

つきましては、昨年 11 月に弊会より提出させて頂いた「旧豊多摩監獄表門の曳家移築とその後の活用に関する要望書」の中の第 5 項目、「**移築前に表門があった位置を示す恒久的指標等を何らかの形で設ける**」ことを、再策定される平和の森小学校の基本計画の中に組み込んで頂きたく、ここに再度、要望するものです。

（次頁に、上記の提出済み要望書も再録させていただきます。）

歴史的に価値のある建築物の保存活用にあたっては、現地保存が基本であることは論を待ちませんが、やむを得ず移築保存する例も出てきます。後者の場合は、その歴史的建造物の本来の所在位置を恒久的に特定できるような工夫が、失われる現地性への代替措置として必要です。

平和の森小学校の場合、建物が建設された後も刑務所表門の本来の位置を分かりやすく指標（目印）で示し、簡単な説明を掲示することが、生きた歴史の継承となり、また文化への敬意の表明となります。それは、学校本来の目的である教育に資するところ大であって、基本計画に必ず盛り込まれるべきものと考えます。

以上、重ねて要望をお届けする次第です。

敬具